健康管理システム等標準化検討会

合同ワーキングチーム（第 18 回）・ベンダ分科会（第 15 回）合同開催

議事概要

日時　：　令和８年 10 月 14 日（水）13:30～15:00
場所　：　WEB 会議

出席者（敬称略）：

（構成員）

欠席	岡村　智教	慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室　教授
出席	大柳　京美	遠軽町保健福祉課　係長
出席	斉藤　早苗	遠軽町保健福祉課　係長
出席	本澤　諒介	江戸川区健康部健康推進課健診係　主査
出席	土田　壮馬	江戸川区健康サービス課母子保健係　係員
出席	中島　達郎	江戸川区保健予防課庶務係　主査
出席	信太　易之	八王子市健康医療部成人保健課　主査
出席	伊藤　敦	八王子市子ども家庭部こども家庭センター　主任
出席	小杉　浩文	八王子市健康医療部健康づくり推進課　課長補佐
出席	沖　美紗子	横浜市医療局地域医療部がん・疾病対策課　検診企画係長
出席	中島　哲	大阪市こども青少年局子育て支援部管理課　担当係長
出席	市橋　佑規	大阪市保健所感染症対策課
出席	岡﨑　直子	香南市健康対策課　主任
出席	朝倉　ちさ	香南市健康対策課　主任
出席	福井　智歩	香南市健康対策課　係長
出席	吉川　勇輔	アトラス情報サービス株式会社　福祉システム部 標準化プロジェクト　係長
出席	原口　恭輔	株式会社ＲＫＫＣＳ　第２システム本部　健康管理グループ長
出席	坂本　孝志	四国情報管理センター株式会社　営業部　営業３課長
出席	中島　卓朗	株式会社ＴＫＣ　地方公共団体事業部 ユーザ・インタフェイス第二設計部　チーフ
出席	関場　基浩	日本電気株式会社　パブリックシステム開発部門 住民情報システム開発統括部　エキスパート
欠席	古閑　聡	富士通 Japan 株式会社　Ｐｕｂｌｉｃ＆Ｅｄｕｃａｔｉｏｎ事業本部 社会保障サービス事業部

代理　篠田　峻平　　富士通 Japan 株式会社　Ｐｕｂｌｉｃ＆Ｅｄｕｃａｔｉｏｎ事業本部
社会保障サービス事業部

【オブザーバー】

出席　唐戸　直樹　　厚生労働省健康・生活衛生局健康課　地域保健企画官
出席　猪苗代　隆行　厚生労働省健康・生活衛生局健康課　係長
出席　原田　翔斗　　厚生労働省健康・生活衛生局健康課　係員
出席　岩本　香織　　厚生労働省健康・生活衛生局健康課　課長補佐（DX 専門官）
欠席　岩﨑　容子　　厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課　課長
代理　廣瀬　浩市　　厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課　課長補佐
出席　池田　有梨奈　厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課　係員
出席　塚田　陽介　　厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課肝炎対策推進室　室長補佐
出席　濵田　和成　　厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課肝炎対策推進室　係員
欠席　前田　彰久　　厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課　課長
代理　山宮　涼　　厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課　課長補佐
欠席　宮下　牧子　　厚生労働省医政局歯科保健課歯科口腔保健推進室　室長補佐
出席　山口　摂崇　　厚生労働省医政局歯科保健課歯科口腔保健推進室　室長補佐
出席　増子　竣也　　厚生労働省医政局歯科保健課歯科口腔保健推進室　主査
出席　植田　彰彦　　こども家庭庁成育局母子保健課　課長補佐
欠席　土佐　昭夫　　こども家庭庁成育局成育環境課　課長補佐
代理　大岩　舜　　こども家庭庁成育局成育環境課　係員
出席　中西　琢也　　こども家庭庁支援局虐待防止対策課　課長補佐
出席　飯野　一浩　　厚生労働省政策統括官付情報政策総括担当参事官室　室長補佐
出席　島添　悟亨　　厚生労働省政策統括官付情報政策総括担当参事官室　室長補佐
出席　三木　裕太郎　デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐
出席　津田　直彦　　デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐
出席　池端　桃子　　デジタル庁 地方業務標準化エキスパート
出席　土橋　汰公麿　デジタル庁統括官付参事官付
出席　細川　敬太　　総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室　課長補佐
出席　加藤　秀和　　総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室　課長補佐

【事務局】

Ｂ２ＮＥＸＴ株式会社

【議事次第】

１．開会

２．議事

（１）令和８年度下期検討スケジュールについて

（２）WT・ベンダ分科会の検討概要

（３）母子連結に係る仕様検討について

（４）標準仕様書【第 5.1 版】案に関するその他質疑応答

（５）ご依頼事項

（６）その他

３．閉会

【配付資料】

資料１_構成員名簿

資料２_令和８年度下期検討スケジュール

資料３_WT・ベンダ分科会の検討概要

資料４_一部機能経過措置の対象機能等一覧

資料５_ご依頼事項

別紙_ご意見記入シート

別途添付_健康管理システム標準仕様書【第 5.1 版】案

○議事概要

（議事（１）について）

事務局から令和８年度下期検討スケジュールについて説明が行われた。

意見、質問等なし

（議事（２）について）

事務局から WT・ベンダ分科会の検討概要について説明が行われた。

質疑応答は議事（４）にて行うため省略。

（議事（３）について）

こども家庭庁成育局母子保健課（以下、母子保健課）から母子連結に係る仕様検討について説明が行われた。

＜質疑応答＞

（ベンダ）健康管理システムに母子連結機能を設ける必要があると判断した背景を教えてほしい。

⇒（母子保健課）子どもと母親の紐づけは、世帯情報からの推定や聞き取りといった形で行われている認識である。一定規模以上の地方自治体において、この事務を手

作業でやろうとするとかなりの手間があると考えるため、業務負担の軽減の補助機能として、また、PMH におけるその情報連携を目的としている。なお、小規模自治体などでは必ずしも必要ないと考えられるため、本機能は標準オプション機能として設けることを想定している。

（ベンダ）出生届が届いたタイミングで、住民記録システムから住民情報が連携される。その後に母子連結に係る処理も自動で行うというイメージになるか。
⇒（母子保健課）機能詳細については今後検討を進めたいと考えているが、一定程度自動化して、早い段階で母親候補となる対象者を抽出することが望ましいと考えている。
⇒（ベンダ）現在、住基システムの世帯情報から職員が母子関係を設定していると思われるが、戸籍情報を用いてより正確に確認するというイメージでよいか。
⇒（母子保健課）その認識で相違ない。

（ベンダ）関係法令も多く、大がかりな検討になると考えるため、ベンダ向けに事前に詳細を説明した上で検討を進めてほしい。
⇒（事務局）11 月中旬以降に開催予定の個別検討ワーキングチームにおいて、改めて詳細な説明及び質疑応答を行う予定である。

（ベンダ）戸籍との連携に係る仕様や適合基準日については、今後検討するという理解でよいか。
⇒（母子保健課）データ標準レイアウトについては、令和９年６月改版、令和 10 年６月から運用開始することを想定しているが、標準仕様書については標準オプション機能として検討中のため、適合基準日は設定されない見込みである。また、詳細な仕様は今後検討予定である。
⇒（ベンダ）令和 10 年６月から情報照会をするという意味でよいか。
⇒（事務局）そのとおりである。

（議事（４）について）
事務局から標準仕様書【第 5.1 版】案に関するその他質疑応答について説明が行われた。
＜質疑応答＞
P.1-3 おたふくかぜワクチンの定期接種化及び抗体製剤の追加対応について
（地方自治体）最速で令和９年４月から定期接種化が見込まれている認識である。令和９年１月に公表される標準仕様書 5.1 版を４月までに導入しなければならないという意味か。各地方自治体、標準仕様書に沿ってシステム導入をしているため、副本登録では前年度中に仕様が提示されているように、もう少し余裕を持ったスケジュールとしてほしい。
⇒（事務局）具体的な対応内容は厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種

課（以下、予防接種課）と調整中であるが、従来のワクチン追加と同程度の内容になる見込みである。

⇒（予防接種課）スケジュール改善についてご意見として承った。今回については、どのような形で運用していただくのかということも含めて全体を整理し、今後お示しさせていただく。

（地方自治体）造血幹細胞移植に係る再接種についても定期接種に加わってくると思うが、同様に検討が必要ではないか。

⇒（事務局）現時点では、既に標準仕様書に規定している範囲の中で対応可能と想定しているが、予予・請求システムにも影響がある内容であるため、調整し、対応方針が決まり次第共有する。

（ベンダ）母子保健 DX や自治体検診 DX について、実証段階で仕様が十分に公開されていない。案の段階でよいので可能な限り早く情報を提示してほしい。

⇒（事務局）公開可能な情報について、関係各課と確認しながら進める。

⇒（厚生労働省健康・生活衛生局健康課（以下、健康課））意見を踏まえて内部で検討する。

P.4-15 母子保健 DX における全国での PMH 運用開始を踏まえた対応について

（ベンダ）PMH インターフェース仕様書が根拠とされている部分があるが、当該仕様書は公開されているか。また、機能要件の適合基準日は「令和 10 年４月１日以降の日付で検討中」との記載だが、現時点では未定という理解でよいか。

⇒（母子保健課）当該仕様書は今年度の実証事業に係るものであり、現時点では全体公開していない。適合基準日についても引き続き検討中である。
なお、資料３でも、妊産婦問診票マスタ ID 管理機能の適合基準日は「令和 10 年４月１日以降の日付で検討中」としている。

（ベンダ）母子保健 DX 対応として追加された項目・マスタ ID の管理や一括出力について、自治体検診 DX でも同様の機能と考えられるが存在していないため、今後追加されるのではと想定している。事前に各 DX 間のすり合わせを行って、タイミングや仕様をできるだけあわせてほしい。

⇒（事務局）各実証事業の進捗状況に違いがあるため、標準仕様書への反映状況にも一部差異がある状態であるが、できるだけあわせられるように検討する。

P.16 便潜血検査１日法への変更に伴う対応について

意見、質問等なし

P.17 乳がん検診における乳房構成の通知について

（ベンダ）「乳房構成」が管理項目として追加されるとのことだが、今後、副本登録対象にも追加されるという理解でよいか。

⇒（厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課）含める方向で議論を進めているところである。

P.18 デジタル化によって不要となる機能の整理に伴う対応について

（地方自治体）整理対象機能に対象者抽出の機能が入っている。国の自治体向け説明会を踏まえると、紙予診票がデジタル予診票に替わるのではなく、紙予診票に加えて新たにデジタル予診票も使えるようになるという理解である。国の方針と矛盾があるのではないか。

⇒（事務局）標準仕様書 3.1 版時点では、勧奨通知は予予・請求システム側から行う運用フローが想定されており、予予・請求システムで勧奨通知できなかった対象者については、予予・請求システムからそのリストをダウンロードし、地方自治体にてそのリストを基に紙勧奨する運用であるため、健康管理システムでの対象者抽出は将来的に不要になるものとしていた。国の自治体向け説明会を踏まえ、実装必須のまま残すか、標準オプション機能や実装不可に変更をするか、ご意見をいただきながら検討を進めていきたいと考える。

（ベンダ）今後事務局から対応案の提示があり、その内容をもとに個別検討ワーキングで検討するという進め方となるか。

⇒（事務局）ご認識のとおりである。

（ベンダ）地方自治体から、任意接種を今後も健康管理システムで管理したいといった話があがっているが、機能がなくなる見込みで話をしているため、早めに方針を決めたいと考える。

⇒（事務局）承知した。

P.19-20 児童福祉法等の一部改正について

意見、質問等なし

P.21-22 検討課題、標準化 PMO ツール等の意見を踏まえた対応について

（ベンダ）自治体検診 DX の対象は 8 検診のみである認識だが、今後対象を拡大する予定はあるか。これまでどおりの管理・運用を継続することとなるか。

⇒（健康課）独自検診の在り方については検討中であり、検討結果を踏まえてお知らせする。

（ベンダ）妊婦のための支援給付事業の参考様式について、どこで公開されているか。

⇒（事務局）確認後、共有させていただく。

P.23-24 一部機能経過措置の対象機能等の標準化基準上の取扱いについて

意見、質問等なし

（議事（５）について）

事務局から依頼事項について説明が行われた。

＜質疑応答＞

意見、質問等なし

（議事（６）について）

全体を通しての確認がされた。

＜質疑応答＞

（ベンダ）実証事業に係る情報について、提示できない情報があることは理解するが、断片的な情報のみでは判断が難しいため、可能な限り事前に情報を提示の上、検討の場を設けてほしい。

⇒（事務局）承知した。関係各課と調整を行う。

以　上